

(別紙2-1)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月14日

【評価実施概要】

事業所番号	4271401277		
法人名	有限会社 あっぷる		
事業所名	グループホームありあけ		
所在地	〒859-1413 長崎県島原市有明町大三東丙470番地1 (電話) 0957-68-0706		
評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
訪問調査日	平成20年12月18日	評価確定日	平成21年2月10日

【情報提供票より】 (20年 4月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年 1月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 4人, 非常勤 7人, 常勤換算	6.0人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り		
	2階建ての	1~1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000~16,000 円	その他の経費(月額)	12,000+実費 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	- 円	昼食 - 円
	夕食	- 円	おやつ - 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要 (4月 1日現在)

利用者人数	9名	男性 1名	女性 8名
要介護1	- 名	要介護2	3 名
要介護3	1 名	要介護4	1 名
要介護5	3 名	要支援2	1 名
年齢	平均 84.2 歳	最低 73 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	くすのきクリニック 喜多内科医院 松井歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは島原鉄道大三東駅前の住宅地に位置し、デイサービスと宅老所を併設した形で運営されています。ホーム内は清掃が行き届いており、清潔感にあふれています。
「その人らしく 毎日を笑顔で安心して 過ごしましょう。」といった理念は、ホームの運営や利用者に対する支援の状況などから、経営者及び管理者を含めた全スタッフの精神を表しているかのように感じられます。ご利用者は、その実現に向けたホームの取り組みの中で毎日の生活を送られています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回の評価結果を基に計画的な改善が見受けられます。 前回の評価結果を基に改善計画が作成され、改善に向けた取り組みが行われています。また、改善実績についても確認が可能な状況になっています。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義についての共通理解が図られています。 自己評価を会議形式で行われ、課題の共有と合わせて評価の意義や目的についての共通理解が図られています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は概ね2ヶ月に1回開催されています。 会議メンバーについては、積極的な関与を促す取り組みや工夫が必要と感じられますが、会議の意義などについては理解され、定期開催が実現されています。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>今後の取り組みに更なる期待がよせられます。 意見箱の設置やご家族の意見の共有化の仕組みなど、前回評価結果に基づいた改善が図られています。今後は共有化の徹底など、新たな課題への取り組みに期待します。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の中のホームと位置付け、積極的に取り組まれています。 自治会に加入され、消防訓練への参加やスタッフによる地域のゴミ収集場所の清掃活動など、地域とのかかわりを大切にされている姿勢をうかがい知ることが出来ます。</p>

(別紙2-2)

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく毎日を笑顔で過ごせる家庭的なホームをめざし、独自の理念が掲げられ、日々実践に向け取り組みが展開されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は大きく玄関・リビングに掲示され、理念に添った取り組みが行われていることがうかがえます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入され、消防訓練への参加や地域のゴミ収集場の清掃などの活動も行われています。またご近所の方から花や野菜のおすそわけもあるとのこと。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員会議で話し合い、全員で取り組まれています。また、前回の評価結果を活かして改善計画シートも作成され、改善に向けての取り組みが行われていることがうかがえます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、概ね2ヶ月に1回行われていますが、徐々に参加者が少なくなっているようです。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の関係部署に対し、ご利用者の要望や必要に応じて相談などが行われており、市町村側からも見学者の紹介があつているとのことです。 保護課への相談事例も聴取できます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、生活面（文章と写真）、健康面（熱計表、受診報告書）について書類が送付されており、面会時にもその都度、暮らしぶりなどを説明されています。金銭面においては、預かり金はなく全て立て替え精算をされています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	前回の評価結果を活かし、意見箱が設置され、ご家族の意見を検討する仕組みとして、「苦情・要望報告書」の作成と閲覧によるスタッフ間の共有化の仕組みを構築されています。	○	「苦情・要望報告書」は作成されていますが、一部についてはスタッフ閲覧のサインが確認できないなど、スタッフに対する仕組みについての周知徹底が必要と感じます。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの定着率が高く、スタッフの離職は現在のところはないとのこと。同一法人内での異動も行われていません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	前回の評価結果を活かして、研修計画やスタッフの研修履歴の把握、研修報告書等の作成も行われるなど改善が見受けられます。今後も継続されることでサービス向上へと繋がることが期待できます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者の方の「今年度は、スタッフのグループホームケア研究会への参加などについて十分とは言えない状況だったので、来年度は計画的に参加してもらい同業者との交流による質の向上を図りたい」といった、積極的なコメントが聞かれました。	○	計画的なグループホームケア研究会へのスタッフの参加の実現と共に、スタッフによるグループホーム間の相互訪問などにも取り組まれることを期待します。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の見学の受け入れや訪問による面接などを実施されており、その際に得られた情報を記録され、入居直後のケアに活かすよう努められています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	干し柿やクリスマスの飾りなどもご利用者とスタッフが一緒に作成されたとのことです。訪問時には、お正月の飾り等を楽しそうに話をしながらご利用者と一緒に作られているスタッフの姿が見受けられました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の意向は、ご家族からの情報を活かして把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常的な関わりの中で聴取したご家族の意見を踏まえ、会議形式でスタッフの気付きなどを活かした介護計画の作成に努められています。 介護計画は、ご家族に説明され同意が得られています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な介護計画の見直しは3ヶ月ごとに行われ、入退院時やご本人の状態の変化に伴う計画の見直しも行われています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院の介助やご本人の希望等による馴染みの美容室への付添い等、その状況に応じた柔軟な支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	1日おきに受診が必要な方もおられ、医療機関との連携は密に行われています。また、看護スタッフの関わりによりご利用者一人ひとりの入居以前からのかかりつけ医との連携にも努められています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方についての話し合いは、毎日点滴が必要なご利用者についてのみ行われているとのことで、その他のご利用者については特に希望などの聴取はされていない状況であり、必要に応じて相談をしていきたいとのことです。	○	重度化への対応や終末期のあり方については、入居時など早い段階でご家族の意向を把握し、日常的なご本人との関わりの中で得られた意向や状態変化時などのタイミングでのご家族との話し合いにより、ご本人らしさの支援に取り組まれることが望まれます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常的に言葉遣いには配慮されており、特に排泄時の誘導や介助等については、声の大きさにも気をつけられ、職員同士も馴れ合いにならないよう心掛けられているとのことです。	○	個人情報保護についての方針や規程などの整備が求められています。また、個人情報保護に関する法的な要求事項についてもスタッフ全員の理解を深めるための取り組みを期待します。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはある程度決められていますが、本人の状況や希望に応じた柔軟な対応を心掛けているとのことです。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者とスタッフは同じものを同じテーブルで食され、訪問時には、視力に障がいを持たれているご利用者に対し、食事前に一品一品を紹介されている光景も見受けられました。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については、ご利用者の好みなどを聴取され、一人ひとりに応じた「入浴マニュアル」を作成した上で支援されています。一人での入浴を希望される方に対しては、十分に注意を払い、配慮ある見守りを心掛けられているとのことです。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	「その方ができることをしていただく」を基本に、テーブル拭きや下膳など状況に応じた役割が見受けられます。新聞紙でのゴミ箱作りなど熱心に取り組まれており、作られたゴミ箱も大いに活用されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご利用者の状況や季節的な配慮のもと、庭や隣接地の畑までの散歩などに出かけられています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけられておらず、ご利用者の外出には、天候や状況に応じた見守りや寄り添うことでの対応が行われているとのことです。玄関にはセンサーが使用されていますが、その音量には配慮がうかがえます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	スプリンクラーが設置され、緊急時の連絡先一覧表も整備されています。夜間想定防災訓練も実施されており、災害に備えて食料品などの備蓄も用意されています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合った支援が、下準備の段階から考慮されており、食事量や水分摂取量の確認なども実施されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングなど共用の場所には、季節に応じたご利用者の作品や写真などが飾られており、居心地の良い場所、安心できる場所になるような工夫が見受けられます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の家具の配置換えなど、ご本人の要望に応じて対応されています。また、居室にはご利用者の作品や写真、花など、各々の好みを活かした空間作りがなされています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。